

<記者発表資料①>

平成31年2月18日 記者発表
2月21日 解 禁

総務部財政課

担当：課長 中尾 吉伸

内線：2450

平成31年度 当初予算(案)の概要

20～30年先のまちを見据え、未来へつなぐ予算



三木市 Miki City

1. 予算規模

☆ 一般会計予算は、前年度より11億6,000万円増加の327億7,000万円で、過去最大

☆ 全会計の予算規模は、前年度より約6億円(1.0%)の増加

(単位:千円)

		平成31年度当初予算(案)		平成30年度当初予算		対前年度比(歳出)	
		歳入	歳出(A)	歳入	歳出(B)	増減額 (A-B)	増減率 (A/B)
一般会計		32,770,000	32,770,000	31,610,000	31,610,000	1,160,000	3.7%
特別 会計	国民健康保険特別会計	9,392,000	9,392,000	10,004,000	10,004,000	△ 612,000	△ 6.1%
	介護保険特別会計	6,985,000	6,985,000	6,973,000	6,973,000	12,000	0.2%
	農業共済事業特別会計	108,000	108,000	98,000	98,000	10,000	10.2%
	後期高齢者医療事業特別会計	1,386,000	1,386,000	1,184,000	1,184,000	202,000	17.1%
	学校給食事業特別会計	290,000	290,000	289,000	289,000	1,000	0.3%
企業 会計	水道事業会計	2,126,734	2,426,695	2,083,093	2,391,276	35,419	1.5%
	収益的収支	1,992,948	1,781,511	1,949,569	1,799,375	△ 17,864	△ 1.0%
	資本的収支	133,786	645,184	133,524	591,901	53,283	9.0%
	下水道事業会計	3,922,187	4,797,473	4,295,953	5,027,915	△ 230,442	△ 4.6%
	収益的収支	2,632,288	2,626,612	2,622,108	2,617,439	9,173	0.4%
	資本的収支	1,289,899	2,170,861	1,673,845	2,410,476	△ 239,615	△ 9.9%
合 計		56,979,921	58,155,168	56,537,046	57,577,191	577,977	1.0%

2. 一般会計予算の特徴

20～30年先のまちを見据え、未来へつなぐ予算を編成

① 教育の 充 実

三木の未来を担う子どもたちの学習環境を整備

- ☆ 学校へのタブレット型パソコンの導入による「新たな学び」の開始
- ☆ 「(仮称)みっきい・ステップ学習」の導入(学力向上を支援するためのデジタル教材)
- ☆ すべての市立学校園に防犯カメラを設置し、安全を確保



② 福祉の 充 実

子育て世代を中心とした支援を充実

- ☆ 産婦健診の開始や、乳がん検診の自己負担額の軽減などにより女性をサポート
- ☆ 「クラウドワーキング」による多世代の仕事づくり
- ☆ 障がいのある子どもへの支援を強化するなど、共生社会を形成



③ まちの 創 生

三木の将来を見据えた「まちの活性化」や「安全・安心のまちづくり」

- ☆ 大村地区の土地区画整理に着手
- ☆ ひょうご情報公園都市の次期工区整備の要望に向けた調査
- ☆ 神戸電鉄粟生線三木駅の再生
- ☆ 石野地区の浸水対策を検討するなど災害に強いまちづくり



3. 一般会計予算（目的別）

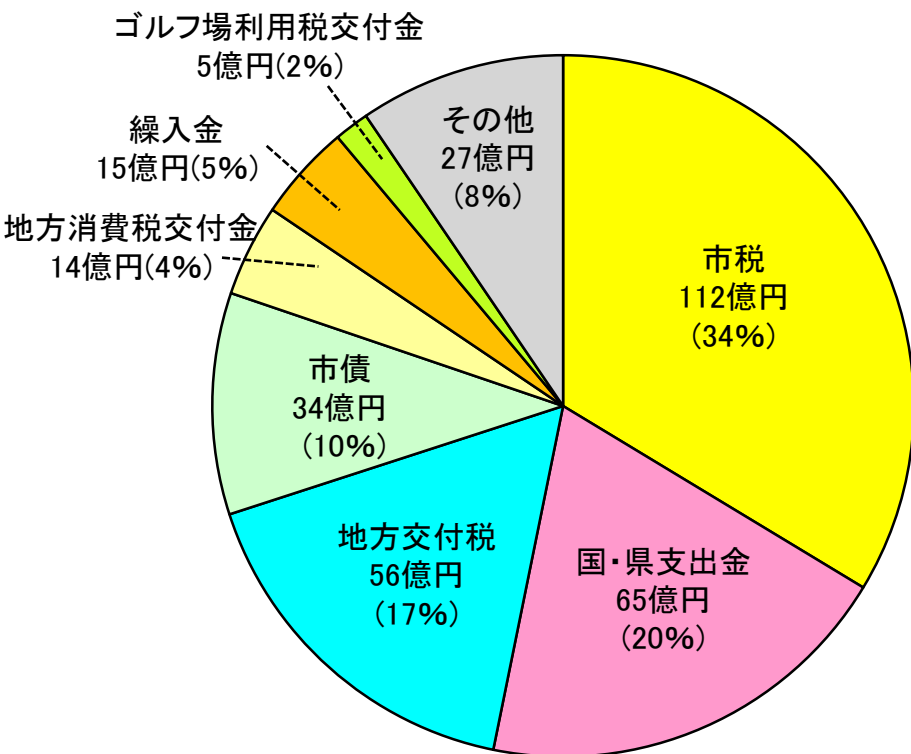
- ☆ 民生費(125.9億円)は、認定こども園給付費や、障がい福祉費、後期高齢者医療費などで、前年度比5.0億円(4.1%)増
- ☆ 土木費(21.0億円)は、神鉄三木駅前広場の整備や、大村土地区画整理事業の計画策定など、前年度比1.0億円(5.3%)増
- ☆ 教育費(31.4億円)は、小・中学校でタブレットパソコンを使った授業を導入するなど、前年度比1.4億円(4.8%)増

目的	平成31年度 当初予算	平成30年度 当初予算	増減額	増減率	主な増減要因
総務費	33.8億円	32.3億円	1.5億円	4.6%	情報システム機器の更新や各種選挙費などの増
民生費	125.9億円	120.9億円	5.0億円	4.1%	民間認定こども園、障がい児支援施設の運営費などの増
衛生費	20.0億円	19.7億円	0.3億円	1.5%	清掃センター改修費などの増
農林業費	6.4億円	7.3億円	△ 0.9億円	△ 12.6%	ため池整備費などの減
商工費	14.9億円	15.1億円	△ 0.2億円	△ 1.6%	ホースランドパーク内に「紫陽花園」を整備する一方、中小企業向け融資預託金の減により、全体として微減
土木費	21.0億円	20.0億円	1.0億円	5.3%	神鉄三木駅前広場の整備や大村地区土地区画整理の計画策定費などの増
消防費	10.6億円	10.4億円	0.2億円	2.3%	消防車の更新などによる増
教育費	31.4億円	30.0億円	1.4億円	4.8%	タブレットパソコンを使った授業の導入による機器使用料などの増
公債費	40.7億円	37.3億円	3.4億円	9.3%	借換債の増(6.2億円→10.4億円)
諸支出金	18.6億円	18.5億円	0.1億円	0.5%	北播磨総合医療センター運営費負担の増
その他	4.4億円	4.6億円	△ 0.2億円	△ 5.5%	勤労者住宅資金預託金などの減
合計	327.7億円	316.1億円	11.6億円	3.7%	

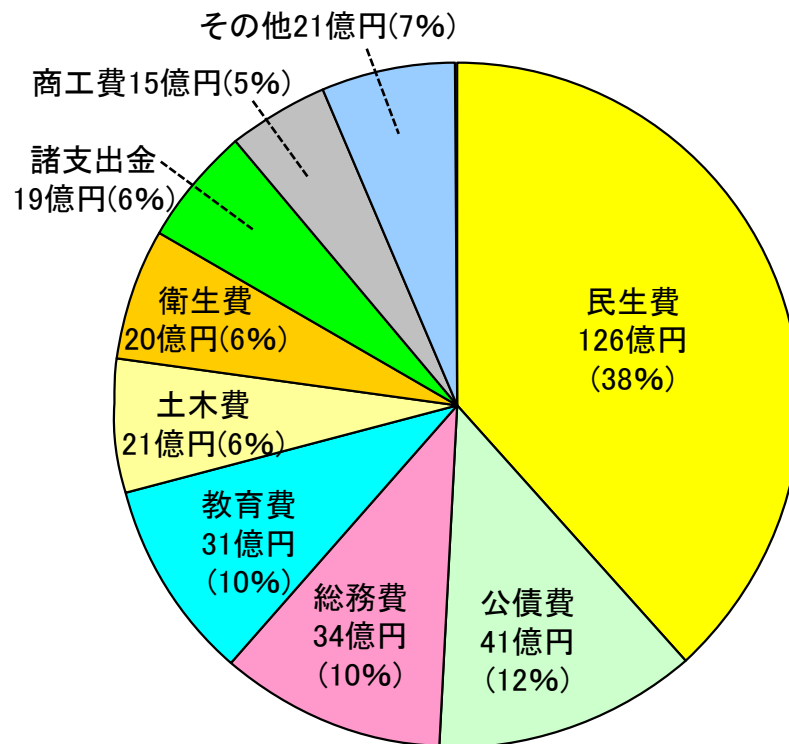
※ 増減率は、千円単位の額で比較

4. 一般会計予算 (内訳)

歳入(約328億円)



歳出(約328億円)



5. 特別会計

国民健康保険

93億9,200万円 (前年度比 Δ 6億1,200万円、 Δ 6.1%)

- ☆ 県が統一的な運営を行う新たな制度の2年目
- ☆ 国保加入者の健康づくりを支援するため、「健康ポイント」事業を開始
- ☆ 国保会計の財政支援のため、一般会計から約2.4億円を法定外繰入

介護保険

69億8,500万円 (前年度比 +1,200万円、+0.2%)

- ☆ 第7期介護保険事業計画(H30年度から3年間)の2年目
- ☆ 引き続き「みっきい☆いきいき体操」などによる介護予防を推進
- ☆ 次期(第8期)計画策定に向け、アンケート調査などを実施

農業共済事業

1億 800万円 (前年度比 +1,000万円、+10.2%)

- ☆ 引受頭数等の増加による家畜共済・園芸施設共済の増加
- ☆ 平成32(2020)年度から全県で運営の一本化に移行するに当たり、体制を強化

後期高齢者医療事業

13億8,600万円 (前年度比 +2億200万円、+17.1%)

- ☆ 75歳以上の被保険者数の増加により保険料収入が増加

学校給食事業

2億9,000万円 (前年度比 +100万円、+0.3%)

- ☆ 児童・生徒においしい給食を提供

特別会計予算総額

平成31年度	平成30年度	対前年度	
		増減額	増減比
181.6億円	185.5億円	Δ 3.9億円	Δ 2.1%

6. 企業会計

安心しておいしく飲める水道水を安定して供給するとともに、河川や水路の水質を保全していきます。

水道事業

24億2,670万円 (前年度比 +3,542万円、+1.5%)

- ◆ 主要管路を更新し耐震化を推進
- ◆ 西部浄水場耐震化設計業務に着手
- ◆ 配水池ポンプ場の水道施設の運転管理
- ◆ 自己水源である深井戸の適切な維持管理
- ◆ 配水・給水施設の適切な維持管理
- ◆ 県営水道受水費
- ◆ 停電時に備えた非常用電源装置の更新

下水道事業

47億9,747万円 (前年度比 △2億3,044万円、△4.6%)

- ◆ 下水道管及びマンホール蓋の長寿命化
- ◆ 吉川浄化センターの長寿命化及び適切な管理運営
- ◆ 農業集落排水施設の適切な管理運営
- ◆ 加佐地区の雨水管渠の整備
- ◆ 加古川上流流域下水道負担金
- ◆ 下水道事業計画の変更

※本年10月1日から施行予定の消費税率8%から10%への増税については、上下水道料金に増税分2%を転嫁します。

企業会計予算総額

平成31年度	平成30年度	対前年度	
		増減額	増減比
72.2億円	74.2億円	△2.0億円	△ 2.6%